



# Teradata Purpose-Built プラットフォーム・ファミリー

www.Teradata-j.com

## Teradata プラットフォーム・ファミリー仕様一覧

モデル	Teradata Data Mart Appliance 560	Teradata Extreme Data Appliance 1650	Teradata Data Warehouse Appliance 2650	Teradata Extreme Performance Appliance 4600	Teradata Active Enterprise Data Warehouse 6650/6680
目的・用途	部門データマート、テスト・開発	大容量データ分析専用データウェアハウス	エントリーレベル、DSS専用データウェアハウス	超ハイパフォーマンス分析を要するオペレーショナル分析	全社の戦略・業務インテリジェンス、エンタープライズ・データウェアハウス
特徴	コンパクトな単一のラック・システム	キャビネット内にノードとストレージを統合	キャビネット内にノードとストレージを統合	キャビネット内にノードとストレージを統合	キャビネット内にノードとストレージを統合
ノード	6 コア インテル Xeon プロセッサを2つ搭載した単一SMPノード構成	6 コア インテル Xeon プロセッサを2つ搭載したMPPノード構成 (キャビネット当たり2ノード)	6 コア インテル Xeon プロセッサを2つ搭載したMPPノード構成 (キャビネット当たり9ノード)	クアッド・コア インテル Xeon プロセッサを2つ搭載したMPPノード構成 (キャビネット当たり9ノード)	6 コア インテル Xeon プロセッサを2つ搭載したMPPノード構成 (Cモデルはプロセッサを1つ搭載)
オペレーティング・システム	Novell SUSE Linux Enterprise Server 10 (64bit)				
ストレージ装置	300GB/600GBのエンタープライズ・クラス SAS ドライブ	1TB/2TBのエンタープライズ・クラス SAS ドライブ	300GB/600GB、または2TBのエンタープライズ・クラス SAS ドライブ	300GB SSD SAS ドライブ	HDD : 300GB/450GB/600GB FCDライブ SSD : 300GB SAS ドライブ(6680)
ドライブ数	最大72個	キャビネット当たり最大144個	キャビネット当たり最大216個	キャビネット当たり最大72個のSSD	ノード当たり 最大232個 HDD (6650) ノード当たり 36-46個 HDD / 12-18個 SSD(6680)
ユーザー使用可能領域 (非圧縮時)	最大 11TB	最大 186PB	最大343TB	最大 18TB	最大92PB(6650) 最大36PB(6680)
スケーラビリティ	シングルキャビネット設計	最大4,096ノード	最大45ノード	最大24ノード	最大4,096ノード
可用性	・RAID1 ・フェールバック(オプション)	・RAID1 ・フェールバック(オプション) ・ホットスタンバイ・ノード (オプション)	・RAID1 ・フェールバック(オプション) ・ノード・フェール・オーバー & リカバリー	・フェールバック ・ノード・フェール・オーバー & リカバリー	・RAID1 ・フェールバック(オプション) ・ノード・フェール・オーバー & リカバリー ・ホットスタンバイ・ノード
メモリー	48GB	ノード当たり48GB	ノード当たり96GB	ノード当たり96GB	ノード当たり96GB (6650H/6680) ノード当たり48GB (6650C)

**TERADATA** 日本テラデータ株式会社  
Raising Intelligence

〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2 (茅場町タワー)

テラデータ製品に関する情報やお問い合わせは

<http://www.teradata-j.com/>

・ TeradataはTeradata Corporationの登録商標です。本文中の社名、製品名は各社の商標または登録商標です。・本文中に記載されている製品情報は、予告なく変更する場合がありますのでご了承下さい。  
・ このカタログの記載情報は、2011年4月現在のものです。・ このカタログで使用されている製品の写真は、出荷時のものと一部異なる場合があります。